

とくしま国際戦略センター



発行／公益財団法人徳島県国際交流協会



TOPIAの
1年



昨年度は当協会の活動に対しましてご理解、ご協力いただき誠にありがとうございました。当協会は、多様な文化や価値観が尊重され、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指し、さまざまな活動に取り組んでおります。

当協会の機関誌では、当協会の事業や、イベント情報、多文化共生をテーマにした取り組み事例をご紹介します。

今後も、地域の皆さまとともに歩みながら、交流の輪を広げ、相互理解を深めてまいります。皆さまのご意見やご提案も大切にしながら、より良い活動の展開を目指してまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

● 外国人との共生社会実現に資する事業

当協会は、県内国際交流・協力の中心的な役割を担い、県や市町村、民間団体などと連携し、在住外国人が県民とともに安心して生活するための相談や、訪日外国人観光客などを含めた在県外国人への情報提供及びコミュニケーション支援を実施することにより、多文化共生のまちづくりを推進いたします。

また、国際交流・協力及び多文化共生に関する様々な情報を収集・提供することにより、県民への意識啓発を図るとともに、異なる文化や歴史、生活習慣、価値観などを理解し、人権や多様性を尊重する国際感覚豊かな人材を育成いたします。

さらに、とくしま国際戦略センターの運営を柱に、外国人との共生社会実現に資する事業を実施いたします。

● 阿波おどり交流事業

時期：令和7年8月14日（木）

留学生や外国語指導助手並びに在住外国人と県民による「あそわ連」を組織し、伝統的な郷土文化である阿波おどりを共に楽しみ、相互理解を深め、国際親善及び協力を図ります。

● ホームステイ・ホームビジット受入事業

時期：秋頃

場所：徳島県内

徳島県在住の留学生を対象に1泊2日のホームステイ、日帰りのホームビジットを実施し、地域での国際交流と相互理解の促進を図ります。受け入れに興味のある方はお問い合わせください。

● とくしま多文化共生推進事業

外国人支援のための各種ボランティアの募集・養成を行い、ボランティア活動を支援することにより、県民の皆様の国際理解と官民協働の国際交流・協力活動を深め、本県の多文化共生を推進いたします。



国際理解支援講師派遣



阿波おどり：あそわ連



防災センタースタディツアー



ホームステイ・ホームビジット



外国人総合相談窓口



● ONE WORLD こども支援事業

世界の未来を担う子どもたちに、様々な国の人達との交流体験を通して、国際社会の一員としての自覚を促し、異文化交流や国際理解及び国際協力への意識の醸成を図るための支援事業を行います。

● 外国人による日本語弁論大会

時期：令和7年7月20日（日）
スピーチの部：13：00～16：30
場所：あわぎんホール 5階小ホール

県内在住外国人から参加者を募り、日本語での弁論とともに会場参加者との意見交換や交流会を行い、異文化理解、多文化共生の促進を図ります。

● 地域外国人日本語支援事業

日本語教室を開催し、在住外国人のための日本語支援を実施することにより、外国人を社会の一員として受け入れ、平時・有事を問わず、安全・快適に暮らすことのできる多文化共生のまちづくりを推進いたします。

また、外国人住民と関わりがある県内の自治体や団体・企業などに向けて「やさしい日本語」の普及を図る研修を開催いたします。研修に興味のある方はお問い合わせください。

● 地域外国人相談支援事業

外国人材受入拡大に伴い、言葉や生活習慣の違いなどからトラブルが生じる恐れがあります。また、地震や豪雨等の自然災害における、外国人の支援体制の脆弱性が全国的に指摘されていることから、地域の外国人からの相談に対する各種支援を行います。

● とくしま国際戦略センター運営事業

（公財）徳島県国際交流協会（TOPIA）を核として、県民、行政、関係機関の力を結集し、海外交流や地域貢献など多様なニーズに対応する「ワンストップ情報受発信拠点」を運営し、県内在住外国人の生活利便性の向上に寄与し、「地域の国際化」を支援いたします。

● 外国青年招致事業

● 情報誌「AWA LIFE」及び「阿波生活」の発行

● 機関誌「とくしま国際戦略センター・TOPIA」の発行

● 外国人観光客案内事業

● 旅券発給補助事業

2025年度外国人による徳島県日本語弁論大会

今年度も日本語弁論大会を開催いたします。徳島県で頑張っている在住外国人の方たちの日頃の想いや考えを聴きにぜひご来場ください！

【日時】2025年7月20日（日）13:00～16:30

【場所】あわぎんホール 5階小ホール



ONE WORLD こども支援事業



日本語教室



日本語弁論大会

このたび、当協会に2名の新しいスタッフを迎えました。それぞれの経験を活かし、多文化共生の推進に力を注いでくれることと思います。また、尽力してくださった2名のスタッフが離職されました。心より感謝申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。

TOPIA ニューフェイス



徳島県国際交流員
陳 思哲

皆さま、こんにちは。中国・湖南省から参りました陳思哲（チン・シテツ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします！私はこの4月から、徳島県の国際交流員として、1年間、皆様のお世話になることになりました。

私の名前は「思哲」です。「思哲」の発音は日本語の「私鉄」と同じなので、初対面の方に時々男性だと勘違いされることがあります（笑）

私は、中学生の頃から、日本のアニメや音楽にたくさん触れる機会がありました。宮崎駿監督の作品はほとんどすべて鑑賞しており、なかでも『ハウルの動く城』は大好きな作品で、これまでに6回も見返しました。アニメでは他にも『犬夜叉』や『BLEACH（ブリーチ）』など、さまざまな作品が好きです。音楽では、「宇多田ヒカル」「浜崎あゆみ」などの歌手の曲をよく聴いていました。また、日本のお寿司も大好きです。こうして長年、日本の文化や料理に魅了されてきた私にとって、ここ日本で皆さまと一緒に働けることは、本当に嬉しく、光栄に思っています。

徳島県における私の役割は、徳島県と湖南省の友好交流に関すること、外国からの訪問者への対応、翻訳業務、会議やイベント、プレゼンテーションにおける通訳、そしてTOPIAが毎月発行している『阿波生活』の編集作業など、多岐にわたります。まだ着任したばかりで不慣れなことも多く、時には緊張してしまうこともありますが、皆さまの温かいご指導のおかげで、少しずつ自信を持って仕事に取り組めるようになってきています。

ここTOPIAでは、日本人のスタッフの皆様だけでなく、中国やベトナム、アメリカ、ドイツなど、様々な国のCIRの皆様と共に、日々刺激を受けながら仕事を進めています。これから徳島県でたくさんの国際交流の機会を得られることを楽しみにしております。

これから1年間、どうぞご指導、ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

長期社会研修生 坂東 佳子

みなさん、はじめまして。坂東 佳子と申します。この4月より、TOPIAで長期社会研修生として、1年間お世話になります。

私は昨年度の3月まで徳島県の中学校の英語教員をしていました。ALTと一緒に授業を行ったり、自分の留学体験を紹介したりするなかで、生徒が多文化に興味を持ってもらえればという思いで、英語教員をしていました。しかし、近年では、英語圏のみならず外国にルーツをもつ子どもや、日本語を学習したことがないまま日本に転勤してくる外国人の子どもや保護者が増えてきており、学校現場にも国際理解・多文化共生は喫緊の課題となっていると痛感しています。「英語ができれば問題ない」という私の考えは間違っているということに気づかされました。



ここTOPIAでは、日本人スタッフの皆さんだけでなく、中国、ベトナム、アメリカ、ドイツ出身の方々や、日本語教室に通う留学生・技能実習生の方々からも、毎日刺激を受けながら研修に励んでいます。

国籍や言語に関係なく、すべての人々が共に協力しあいながら生きていくにはどうすればよいか。

学校現場しか知らない私にとっては、これからTOPIAでたくさんの国際交流の体験ができることが楽しみです。1年後パワーアップして学校現場に戻りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

離職者紹介

前多言語相談員
小林 真子



ご縁があり、2021年4月より、TOPIAにて多言語相談の英語相談員として勤務させていただきました。外国人の皆さんの相談支援を行う立場でありながら、いつしか私自身が在住外国人の方々に支えられ、またその方々とつながる日本人の皆さんにも私が支えられていると気がつきました。

この4年間、関わってくださったすべての皆さんに、ありがとうございます。なかでも、日々共に働いてきたTOPIAスタッフには感謝をしています。嬉しいことや楽しいことを共有するのは、案外簡単なことかもしれません。しかし、このメンバーとはもどかしさや辛さも共に経験した気もします。どんな感情もシェアできたのは、この“ミラクルメンバー”のおかげです。

以前、私の尊敬している友人が「失敗なんてないからねー」って言うてくれました。新しい場所で、新しいことに挑戦しようとしている私は、この言葉を何度も自分に言い聞かせています。失敗することは、誰にとっても怖いもの。不安もたくさんあります。

でも、その経験は、きっといつか、自分自身や、自分の周りにいる大切な人たちを救ってくれる「貴重な知識」になることをこの友人の言葉を通して体感しています。

もし、今、やってみたいことがあるなら、どうか、ためらわずに挑戦してみてください。失敗なんてありません。きっと大丈夫です！

この4年間で関わってくださったすべての方々、そしてこの文章を読んでくださっている皆さんのおかげで、今の私がいます。本当にありがとうございました。



前徳島県国際交流員
秦 瑤

昨年4月、徳島に初めて到着したときは不安と期待が入り混じっていましたが、徳島県国際交流協会（TOPIA）と徳島県国際交流室（現多文化共生・人権課）の皆さんに温かく迎えていただき、安心してスタートを切ることができました。美しい自然や美味しい食べ物に囲まれて過ごした徳島での初めての海外生活は、私にとってかけがえのない思い出です。



私は中日友好の架け橋になりたいという思いで来日しましたが、徳島県での国際交流業務を通じて、世界中の文化や価値観に触れ、自分の視野が大きく広がりました。また、各国の習慣について話し合ったり、海外での経験を共有し合ったりすることはとても興味深く、楽しい時間でした。こうした経験を通じて、多様な考え方を受け入れる姿勢が育まれたと感じています。

そして、国際外交の仕事の一端を体験できたことは、私にとって非常に貴重な経験でした。国際交流の仕事は、長い年月をかけて多くの人々の努力によって築かれてきたものだとことを実感しました。文化や仕事の進め方の違いが、時には友好の壁となることもあります。だからこそ、国際交流員としては、正しい事実を伝え、誤解を解くことが何よりも大切だと感じています。

TOPIAは、外国人が徳島でより快適な生活ができるように、日本語教室、生活相談、観光案内など、様々な分野で外国人をサポートしています。皆さんの笑顔を見るたびに、私ももっと頑張りたい、もっと多くの人の役に立ちたいという気持ちが湧いてきます。「言葉の壁を越え、心が通じ合い、国境を越えて人と人との絆が広がっていく」と国際交流の深い意義を改めて感じました。

この一年間、国際交流の仕事で貴重な経験を積んだだけでなく、忘れられない思い出もたくさんできました。徳島の自然と温かい方々に囲まれながら、多くのことを学び、成長できたことに感謝しています。そして、ここで得た経験や知識を今後活かしていきたいと思えます。

最後に、徳島で皆様との出会いは感謝にあふれる奇跡であり、共に過ごした時間は、きっと私の未来を照らす光となります。皆さん、本当にありがとうございました。

国際理解支援フォーラム：「徳島ではたらく外国人」

令和7年3月16日（日）、四国大学交流プラザにて、「令和6年度 国際理解支援フォーラム」を開催しました。今年度のテーマは「徳島ではたらく外国人」です。

当日は、徳島県内で働く外国人4名（技能実習生、介護福祉士、自営業）を講師にお迎えし、それぞれの仕事や日常生活、日本に来て困ったこと、そして将来の夢などについて、幅広くお話しいただきました。

講演の後には、講師を含む外国人と参加者との交流会も行い、講演内容に関する質問のほか、徳島での暮らしや日本語学習についてなど、活発な意見交換が行われました。和やかな雰囲気の中で、さまざまな背景をもつ人土のつながりが深まりました。

参加者からは、「在住外国人の生の声が聞けて良かった」「直接話すことで、仕事に対する姿勢や思いが伝わってきた」「このような機会を今後も続けてほしい」といった感想のほか、「在住外国人に日本語を教えたい」「国際交流イベントを開催してみたい」など、今後の取り組みに向けた前向きな声も寄せられました。

今回のフォーラムが、参加者の皆さまにとって多文化共生について考えるきっかけとなれば幸いです。TOPIAでは今後も、多文化共生の醸成と国際理解の推進を目指し、在住外国人と地域をつなぐ活動を続けてまいります。



医療通訳ボランティア研修会

令和7年3月8日（土）、オンラインにて医療通訳ボランティア研修会を開催しました。研修会では、一般社団法人全国医療通訳者協会 代表理事の森田直美氏を講師にお迎えし、医療通訳の役割や心構えについて19人が学びました。

また、通訳者に求められる倫理観や守秘義務の重要性、患者さんや医療従事者との信頼関係を築くためのコミュニケーションの工夫についても考える機会となりました。

さらに、精神的な負担が大きくなりがちな医療通訳の現場で、自分自身の健康を守るためのセルフケアの大切さについても理解を深めました。

今回の研修で得た学びが、皆さまの活動の中で少しでもお役に立てれば幸いです。

参加いただいた方たちからの感想の一部をご紹介します。



- 海外から日本に来られる方が多くなっている中で、安心して医療を受けられるために医療通訳者の存在は大きいと感じました。医療従事者と海外の方のためだけでなく、通訳者のためにもスキルアップや資格制度の確立が大切だと、今回の研修を通して感じました。
- リアルタイムで患者の状況を医師に伝えまたフィードバックする、医療現場ではその正確さが命取りになると言う現実、よって如何に通訳者の技能が求められるかを痛感しました。
- 通訳の立ち位置であったり、セルフケアについて知ることができ、大変有意義な時間をありがとうございました。また対面で他の方と交流できる機会がありましたらぜひ参加させていただきたいです！
- 今まで医療現場で培ってこられたその経験値が、今回の研修会では言葉として伝わってきました。通訳経験の無い私にも、実践の域で現場を身近に感じられる確かなものがありました。有意義なお時間をいただき感謝しています。今後ともよろしくお願い致します。

JICA徳島デスクのページ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で 世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

徳島県立徳島商業高等学校 × 大鵬薬品工業(株) × JICA

○Table for two プロジェクトでタンザニアの子供達に給食を届けよう。

大鵬薬品工業(徳島工場)の食堂で取り組まれているTable for two プロジェクト(以下TFT)。該当する定食を食べると開発途上国に1食あたり20円の寄付がされます。TFTが支援する地域では、20円は給食1食分に該当します。今回、大鵬薬品工業では東アフリカにあるタンザニアを対象にTFTプロジェクトを実施しています。定食メニューは徳島県立徳島商業高等学校の生徒がアイデアを出し、大鵬薬品工業の方々と一緒に考案しました。生徒たちは、タンザニアのことをより深く知るために今年の2月に『JICA国際協力出前講座』を活用し、タンザニアで活動していたJICA海外協力隊の帰国隊員からタンザニアの文化や食べ物について学びました。講座の後、生徒からは、「講座を聞いてタンザニアのことを深く知ることができた」「現地の料理の写真をを使って話をしてくれたのでイメージがしやすかった」といった感想がありました。



4月、いよいよメニューが完成しました。販売初日のメニューは「タンタンピラウ定食」。タンザニアで親しまれている料理の一つです。準備された160食はあっという間に完売しました。生徒たちは「涙が出そう」「たくさんの定食の中から自分たちが考えたものが選ばれて嬉しい」「この定食を通じてタンザニアのことをより多くの人たちに知ってもらいたい」とうれしそうに話してくれました。タンザニアの子ども達にもきっと皆様の温かい思いが伝わるはずですよ。ありがとうございました。

過去の出前講座や応募方法についての詳細は、JICA四国HPをご覧ください。

【お問い合わせ先】独立行政法人国際協力機構(JICA)四国センター
〒760-0028 香川県高松市鍛冶屋町3番地 香川三友ビル1階
電話番号:087-821-8824 ファックス:087-822-8870 メール:jicaskic@jica.go.jp

JICA四国 出前講座



～身近な人から国際協力体験談を～

○徳島県在住のJICA海外協力隊帰国隊員から現地の話を聞きました。

3/30 徳島県国際交流協会(TOPIA)でJICA海外協力隊帰国報告会を実施しました。今回お話していただいた帰国隊員は3名でそれぞれニカラグア(青少年活動)・スリランカ(体育)・ブラジル(野球)で活動して今年帰国された隊員です。当日は36名の参加者にお越しいただき終始にぎやかな報告会となりました。参加者のアンケートでは、「このような会を今後も開催してほしい」「日本での当たり前がそうでないという、それこそが当たり前かもしれないような話が興味深かったです。」などお声を頂いた。帰国隊員、参加者、双方にとってとても価値のあるイベントになったと思います。皆様ありがとうございました。



イベント予定や過去のイベントについての詳細は、JICA四国Facebookをご覧ください。

【お問い合わせ先】独立行政法人国際協力機構(JICA)四国センター
〒760-0028 香川県高松市鍛冶屋町3番地 香川三友ビル1階
電話番号:087-821-8824 ファックス:087-822-8870 メール:jicaskic@jica.go.jp

JICA四国 Facebook



JICA徳島デスクでは、いつでも皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

デスク: 徳島県国際交流協会(TOPIA)内/徳島県国際協力推進員 服部

TEL: 088-656-3303 Email: jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

JICA四国HP: <https://www.jica.go.jp/shikoku/index.htm>

JICA海外協力隊の
個別相談受付中



「とくしま外国人支援ボランティア会員」

＊募 集 中＊

徳島県には約95か国、8,907人（県人口の77人に1人）の外国人の方が住んでいます。加速する少子高齢化と労働者の不足により、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページの「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受けることができ、賛助団体は会議室の予約を3か月前から申し込むことができます。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

| | | | |
|-----|------|----|------------|
| 年会費 | 個人会員 | 一口 | 3,000円/年度 |
| | 団体会員 | 一口 | 10,000円/年度 |

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい 人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。



徳島県外国人総合相談窓口

徳島県で生活する外国人のみなさんにとって、暮らしやすい地域社会であることを目指し、外国人総合相談窓口を開設しています。当協会では英語、中国語、ベトナム語のほか、たくさんの言語で対応ができますので、仕事、医療、子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に來所いただくか、お電話下さい。

開所時間：10：00～18：00（年末年始を除く）

場 所：とくしま国際戦略センター

（公益財団法人徳島県国際交流協会）

多言語対応：

(1) 多言語(英語・中国語・ベトナム語)相談員の配置

(2) 電話通訳システムの導入

（通訳事業者、行政機関も交えて4者間で相談できる）

【対応言語】21言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤インドネシア語 ⑥タイ語 ⑦マレー語
- ⑧タガログ語 ⑨ネパール語 ⑩ミャンマー語
- ⑪クメール語 ⑫モンゴル語 ⑬ポルトガル語
- ⑭スペイン語 ⑮フランス語 ⑯ドイツ語
- ⑰イタリア語 ⑱ロシア語 ⑲シンハラ語
- ⑳ベンガル語 ㉑ヒンディー語

(3) 映像通訳システムの導入

（相談者・相談員と通訳者との対面相談に対応）

【対応言語】8言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤タイ語 ⑥ポルトガル語 ⑦スペイン語
- ⑧ロシア語

(4) 対面式通訳機(ポケットーク)の導入(74か国語)

(5) 多言語翻訳アプリ(ボイストラ)の導入

相談専用TEL：088-656-3312、088-656-3313

相 談 料：無料（ただし、電話代は自己負担となります）

問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6F

開所時間：月曜日～日曜日 10：00～18：00

閉所日：年末年始

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>